

■ バックナンバーのご紹介

Vol.1 特集	『地域における政策形成』	〈平成12年12月〉	Vol.14 特集	『平成の大合併と地域自治』	〈平成16年9月〉
Vol.2 特集	『最適な「地域」となることを求めて』	〈平成13年4月〉	Vol.15 特集	『21世紀の農業』（在庫なし）	〈平成17年1月〉
Vol.3 特集	『新四国創造』（在庫なし）	〈平成13年8月〉	Vol.16 特集	『若年者雇用の危機』	〈平成17年6月〉
Vol.4 特集	『地域における環境政策』	〈平成13年11月〉	Vol.17 特集	『道州制を考える』	〈平成17年12月〉
Vol.5 特集	『地域戦略・政策・ガバナンス』	〈平成14年2月〉	Vol.18 特集	『地域の危機管理』	〈平成18年3月〉
Vol.6 特集	『市町村合併と地域社会』	〈平成14年5月〉	Vol.19 特集	『南予地域を元気に（第一次産業）』	〈平成18年6月〉
Vol.7 特集	『人口減少社会を考える』	〈平成14年8月〉	Vol.20 特集	『〃（交流人口の拡大を目指して）』	〈平成18年12月〉
Vol.8 特集	『まちの機能と景観』	〈平成14年11月〉	Vol.21 特集	『地域産業の再生』	〈平成19年8月〉
Vol.9 特集	『新しい地域社会の構築』	〈平成15年3月〉	Vol.22 特集	『地域力を考える』	〈平成19年12月〉
Vol.10 特集	『ローカルエネルギーの展望』	〈平成15年5月〉	Vol.23 特集	『「限界集落」への対応』	〈平成20年7月〉
Vol.11 特集	『グローバル化時代の地域産業』	〈平成15年9月〉	Vol.24 特集	『過疎地域の自立活性化に向けて』	〈平成20年12月〉
Vol.12 特集	『新しいライフスタイルと地域』	〈平成16年1月〉	Vol.25 特集	『地域とともに歩むプロスポーツ・ビジネス』	〈平成22年1月〉
Vol.13 特集	『構造改革特区と地域再生構想』	〈平成16年5月〉			

■ 編集後記

本年9月26日に、「四国へんろ道文化」世界遺産化の会（代表世話人小山田憲正氏）の創立10周年記念フォーラムが松山市で開催された。

この会が設立された当時、愛媛県庁で四国遍路の魅力を四国の内外に発信する事業の担当であった私は、小山田代表ほか数名の方々の訪問を受け、行政としての支援を要請された。

その際、「率直に言って、現状では世界遺産登録は極めて厳しい。一方で、宗教と行政とのかかわり方についての整理も必要だと思われ、当面は民間主体で活動を続けてもらいたい。ただし、ユネスコの世界遺産登録基準の見直しもあるかもしれないので、息の長い取り組みをしてもらいたい」という趣旨の発言をした。

あれから10年。今では、四国4県・関係市町村など89団体によって世界遺産をめざす推進協議会が設立されるまでに至っている。

民間主体どころか、まさに行政主導の取り組みがなされており、この10年間の状況変化には感慨深いものがあるが、世界遺産登録までの道のりは長い。

今後、課題が一つひとつ克服されて、世界遺産登録が1日でも早く実現することを期待したい。（森川）

Member (平成22年11月1日現在)

所長 (専務理事)	森川保男
研究部長	大西信治
主任研究員	須山広周
研究員	河野茂樹
〃	近藤浩
〃	小西信樹
〃	近藤誠護
〃	三好進祐
〃	三好康午
〃	崎山憲一
〃	大政太